

特集：未就学児のいる家族を応援する

未就学児と図書館と私

野間口 真裕

はじめに

今回このお話は「図書館員で子育てをしていて、子育ての中で図書館がこういうサービスを提供してくれたら、あるいはこういうサービスを活用して便利だったなどの視点で」というご依頼をLISNの編集よりいただき書かせていただきました。京都の男性大学図書館員の私と5歳の娘の感想めいたお話となりますが、どうかご寛恕いただけますと幸いです。

私たちは地元の公共図書館を1ヶ月に1度くらいの頻度で利用させていただいています。本を借りる場合は2週間毎になるのですが借りない場合は1ヶ月以上あいてまた利用させていただくという間隔で利用しています。残念なことに自分の職場の大学図書館にはまだ娘とは行ったことはありません。親の職場見学のようなプログラムがあれば見ることもあるのかな……と今から楽しみにしています。

良かった点

公共図書館は全世代が利用できる点がとても良い点です。魔の2歳児の間は落書きしたり、破ったりするかも…などと不安でなかなか利用できませんでしたが、年齢があがるにつれ、段々と利用できるようになってきました。親子で行くと大人も本を読んだり借りたりできるのでとても助かります。乳幼児用のフローリングのフロアがあったりぬいぐるみが置いてあったり、布の絵本、大型絵本、紙芝居など飽きさせない工夫が随所にあり、楽しく過ごしています。子どもはじっとしていることができないため、公園やアスレチック、食堂などの施設が併設している場合は大変助かりました。

苦労した点

私は男親ですので、女子トイレを利用することができませんでした。年齢があがるにつれ、子どもが男子トイレに入りたがらなくなり、ユニバーサルトイレがない場合は大変苦労しました。また駐輪場、階段やエレベータ、段差など所々不安なところがあります。すぐには改修できないところかと思われませんが、施設面が改善されますと利用者としてとても便利だと思います。

あるといいな

蔵書検索機があり、メニューまでは子どもでも読めるようになっているのですが、配置場所等が読めず、結局一人で入手まで完結できませんでした。書店や漫画喫茶のように配置場所をグラフィカルに表示して直感的に入手まで理解できる機能が今後実装していくととてもよいと思いました。

おわりに

図書館は社会教育施設ですので、子どもの好きなアニメなどの情報が薄め感じます。書店に並んでいる付録付き幼児向け雑誌とは反応が違います。ただ、子どもは子どもなりに図書館の資料、例えば動物の絵本や各種のシリーズ（バーバパパや宮西達也先生）絵本などに楽しみを見出してくれているようです。公共図書館に対して、こうしていただくのもっと使いやすいと思う点もありますが、たくさん本から自分の読みたい本を探す楽しみ、図書館に限らず家で本を読む楽しみ、図書館、家で本を読む楽しみ、本の内容について家族や友達、保育園の先生方とコミュニケーションする楽しみなど様々な楽しみを図書館から見出してほしいなと思います。今月も図書館に娘と一緒にいければと思っています。（まぐち まさひろ）